

(第6回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年2月18日		
契約業者名	大成・東洋・藤田建設興業特定建設工事共同企業体		
契約業者の住所	福岡市博多区住吉四丁目1番27号		
工事の名称	令和4年度馬毛島滑走路等新設工事(その2)		
工事場所	鹿児島県西之表市馬毛島		
工事種別	空港等土木工事		
工事概要	別紙のとおり		
工期(自)	令和4年10月5日		
工期(至)	令和9年3月17日		
変更前の契約金額	62,003,326,000	円	(税込み)
変更金額	22,296,692,000	円	(税込み)
変更後の契約金額	84,300,018,000	円	(税込み)
変更理由	別紙のとおり		

工事内容

工 種 名 称	規格・形状寸法	単位	数量	摘 要
滑走路等新設				
準備工				
準備工【指定部分】 表土除去	t=10cm,t=30cm	m2	1,432,237	
伐開除根		m2	842,886	
土工				
掘削工				
掘削【指定部分】	火山灰質粘性土 礫質土 砂岩優勢層 礫質土 砂岩頁岩互層 礫質土 砂岩優勢層 軟岩Ⅰ 砂岩頁岩互層 軟岩Ⅰ 砂岩優勢層 軟岩Ⅱ 砂岩頁岩互層 軟岩Ⅱ	m3	756,100	
		m3	2,030,000	
		m3	65,000	発破
掘削	火山灰質粘性土 礫質土 砂岩優勢層 礫質土 砂岩頁岩互層 礫質土 砂岩優勢層 軟岩Ⅰ 砂岩頁岩互層 軟岩Ⅰ 砂岩優勢層 軟岩Ⅱ 砂岩頁岩互層 軟岩Ⅱ	m3	251,297	(想定数量)
		m3	95,182	
		m3	443,927	発破
盛土工				
盛土【指定部分】		m3	2,030,000	
盛土		m3	1,677,910	(想定数量)
路体盛土工				(想定数量)
路体	外周道路	m3	8,736	
路床盛土工				(想定数量)
路床	外周道路	m3	3,387	
舗装工				(想定数量)
路床整正 (横風用滑走路側誘導路)		m2	58,230	
路床整正				
コンクリート舗装 (横風用滑走路側誘導路)				
舗設(機械施工)		m2	48,001	
舗設(人力施工)		m2	8,196	
舗装目地 (横風滑走路側誘導路)				
縦方向施工目地(1)	タイバー(削孔)	m	6,866	
縦方向施工目地(2)	スリップバー(削孔)	m	1,220	
横方向収縮目地(1)	スリップバー付目地	m	314	
横方向収縮目地(2)	タイバー付目地	m	657	
横方向収縮目地(3)	現場目地	m	1,587	
横方向収縮目地(4)	ダミー目地	m	3,151	
膨張目地		m	784	
路盤 (横風用滑走路側誘導路)				
上層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2	58,230	
下層路盤	クラッシャーラン C-40 t=15cm	m2	58,230	

プライムコート	PK-3	m2	56,197	
雨水排水工				
管渠工【指定部分】				
高耐圧ポリエチレン管(3)	φ 800	m	123	
高耐圧ポリエチレン管(4)	φ 900	m	288	
管渠工				(想定数量)
高耐圧ポリエチレン管(7)	φ 500	m	16	
高耐圧ポリエチレン管(1)	φ 600	m	602	
高耐圧ポリエチレン管(2)	φ 700	m	859	
高耐圧ポリエチレン管(3)	φ 800	m	1,223	
高耐圧ポリエチレン管(4)	φ 900	m	536	
高耐圧ポリエチレン管(5)	φ 1000	m	506	
高耐圧ポリエチレン管(6)	φ 1100	m	747	
強化プラスチック複合管(2)	2種 φ 1200	m	270	
強化プラスチック複合管(4)	2種 φ 1350	m	242	
強化プラスチック複合管(5)	1種 φ 1500	m	298	
強化プラスチック複合管(6)	2種 φ 1500	m	162	
強化プラスチック複合管(7)	1種 φ 1650	m	159	
強化プラスチック複合管(8)	2種 φ 1650	m	245	
側溝工				(想定数量)
U型側溝(1)	プレキャスト U300×300	m	35	
U型側溝(2)	プレキャスト U300×500	m	49	
U型側溝(3)	プレキャスト U500×600	m	505	
U型側溝(4)	プレキャスト U500×600横断用	m	26	
素掘側溝		m	4,852	
皿型側溝	B=5.0m	m	1,133	
雨水人孔				(想定数量)
マンホール(1)	2号 φ 1200	個	34	
マンホール(2)	3号 φ 1500	個	6	
マンホール(3)	4号 φ 1800	個	16	
マンホール(4)	5号 φ 2200	個	6	
マンホール(5)	2200×2200	個	11	
マンホール(6)	1200×1200	個	2	
マンホール(7)	1500×1500	個	7	
マンホール(8)	1800×1800	個	2	
マンホール(9)	5000×2200	個	1	
雨水桝(1)	1000×1000×2000	個	2	
雨水桝(2)	1500×1500×2100	個	11	
雨水桝(3)	300×300×1400	個	1	
雨水桝(4)	500×500×1700	個	1	
雨水桝(5)	1000×1000×1000	個	2	
雨水桝(6)	1500×1500×1000	個	6	
雨水桝(7)	1500×1500×800	個	1	
雨水桝(8)	1500×1500×1500	個	1	
標識工				(想定数量)
標識工				
マーキング		m2	17,258	
航空灯火電気設備工				(想定数量)
航空灯火電気設備工				
航空灯火電気設備		式	1	
環境整備工				(想定数量)
植生工				
植生工		式	1	
法面工				(想定数量)
切土工				
切土法面		m2	2,620	

盛土工			
盛土法面(1)		m2	19,213
盛土法面(2)	ジオテキスタイル	m2	19,229
法面排水工			(想定数量)
法面排水工			
法尻排水		m	1,892
小段排水(1)	プレキャスト U300 × 300(張りコンクリート有)	m	992
小段排水(2)	張りコンクリート t=5cm	m	709
小段排水(3)	プレキャスト U300 × 300(張りコンクリート無)	m	443
縦排水		m	222
法肩排水		m	333
雨水桧	500 × 500 × 500	個	39
素掘側溝(1)		m	831
素掘側溝(2)		m	381
溜桧		個	20
小段桧		個	10
ふとん簗		m	26
地下排水工			(想定数量)
地下排水工			
地下排水工(1)	幹線 φ 300	m	3,116
地下排水工(2)	支線 φ 150	m	2,180
ふとん簗		m	54
補強盛土工			(想定数量)
補強盛土工			
補強盛土		m2	56,743
補強土壁工			(想定数量)
補強土壁工			
補強土壁(1)	東側部	m2	3,857
補強土壁(2)	北側部	m2	5,376
護岸工			(想定数量)
土工			
床掘		m3	7,989
埋戻		m3	1,562
本体工			
コンクリート打設	18-8-20	m	661
目地材	t=1cm	m2	419
水叩き工			
コンクリート舗装	t=20cm	m2	74
撤去工			(想定数量)
構造物撤去		式	1
仮設工			(想定数量)
濁水処理		式	1
火薬庫		式	1
ヤード整備		式	1
オカヤドカリ対策工		式	1

契約変更理由

1. 工程精査により工期延伸、指定部分の対象工種・数量を変更した。
2. 建設機械等の拘束費について、数量が確定した。
3. 資機材について、費用が確定した。
4. 舗装機械について、費用計上方法が確定した。
5. 技術提案の履行内容について、費用が確定した。
6. 島内運搬について、距離が確定した。
7. 地盤改良における室内試験について、数量が確定した。
8. 火薬運搬方法について、費用が確定した。
9. オカヤドカリ侵入防止柵について、数量が確定した。
10. 伐開除根について、数量が確定した。
11. 施工範囲内の支障物撤去について、数量が確定した。
12. 濁水処理設備の運搬について、費用が確定した。
13. 馬毛島島内の工事用道路における切替えについて、数量が確定した。
14. 仮設栈橋の維持管理専任作業班について、費用が確定した。
15. 砕石製造について、費用が確定した。
16. モータープールの消火設備について、数量が確定した。

17. 快適トイレの設置(馬毛島)について、費用が確定した。
18. 現場事務所等の設置について、費用が確定した。
19. 表土の場内仮置について、数量が確定した。
20. 雨水排水工の材料仮置について、費用が確定した。
21. 地盤改良工における使用機械・施工方法について、費用が確定した。
22. 雨水排水系統の管種・管路設計について、数量が確定した。
23. 地下排水工⑩⑪土砂置換えについて、数量が確定した。
24. 地下排水工⑩排水法線変更について、数量が確定した。
25. 土砂の場内仮置について、数量が確定した。
26. 雨水排水管について、数量が確定した。
27. 濁水処理施設の集水管ルート及び放流先の変更により、数量が確定した。
28. 濁水対策(団粒化剤・植生シート)について、数量が確定した。
29. 表面波探査の評価に伴い発生が予想される軟弱層の撤去について、数量が確定した。
30. 土砂仮置及び仮設道路の整備について、数量が確定した。
31. 地盤改良試験施工について、数量が確定した。
32. 法面部の緑化について、植生工法が確定した。
33. 西側補強盛土部の地山滑り対策について、数量が確定した。
34. 地下排水工系統⑩のルート変更により、数量が確定した。

- 35. 雨水排水工における ICT 機材の導入について、数量が確定した。
- 36. 護岸工(北側)捨石マウンド部の施工方法変更により、地盤改良の数量が確定した。
- 37. 補強土壁工及び補強盛土工の盛土材料について、費用が確定した。
- 38. 護岸工・補強土壁工及び補強盛土工の掘削における土質区分について、数量が確定した。
- 39. RORO 船による重機輸送について、輸送回数が確定した。